

国際連合 人権高等弁務官事務所 委員会／小委員会チーム (1503 プロシージャー)

CH-1211 ジェノバ 10、スイス: ファックス: (41 22) 917 90 11、電子メール: cp@ohchr.org

1503 請願書

1984年11月の体系的、意図的、故意のシーク教徒殺害の『大量虐殺』としての調査と認識

1984年11月、最初の週、議会 (I) として知られる、当時の与党、インド国民会議は、特定少数派宗教であるシーク教徒の共同体を破壊する目的で、シーク教徒に関してインド中で組織立った攻撃をしました。

シークの生活、所有物、崇拜の場に対するこれらの攻撃は、細部に渡る同一の方法で行われ、3万人ものシーク教徒の、命が奪われ、女性がレイプされ、グルドワラスが焼かれました。シーク教徒の所有物は略奪され、30万人以上のシーク教徒が撲滅、退去されました。

これらの攻撃の重大性、規模、特に組織だった性質は、インド政府により、1984年11月、デリの反シーク暴動と説明されました。これらの攻撃は、『暴動』でも、デリだけに限ったことでもありません。実のところ1984年11月、シーク教徒は、インドの18の州、100以上の市で、シーク共同体攻撃という具体的な目的のもと、攻撃されたのです。

1984年11月の、シーク教徒の生活、所有物、崇拜場の意図的、故意による攻撃の性質は、大量虐殺に関する国連条約2条に基づき『大量虐殺』の罪となります。

新証拠の発見—1984年11月に虐殺されたシーク教徒の共同墓地

驚くべき新たな証拠には、共同墓地、廃墟された村々、焼かれたグルドワラス (シークの寺院)、壊滅したシーク教徒人口の痕跡があります。インドのハリヤーナー州ホンディ・チラー村で1984年11月に殺害されたシーク教徒の共同墓地の2011年2月の発見が、シーク教徒が1984年意図的、故意で計画的な攻撃にさらされた最新の証拠です。2011年2月15日以降、ホンディー・チラー・ハリヤーナー村で、シーク教徒共同墓地の2011年2月15日の発見後、1984年11月シーク教徒に対する攻撃の似たような証拠が、西ベンガル、アター・パラデシュ、ジャム&カシミールを含む他のインドの州で発見されました。

インド政府の正式な記録に加え、インド中で新たに発見された集団虐殺の場所にある孤独な残骸と遺体が、1984年11月のシーク教徒虐殺に関する、最も具体的で、否定的できない、説得力のある証拠です。

国連『1503委員会』への要求に署名致します。

- a) インドの後政権により効果的に隠され、デリに限られた反シーク教徒暴動とされた、1984年11月、最初の週、インド中で行われたシーク教徒の体系的、意図的、故意による虐殺の調査。
- b) 大量虐殺に関する国連条約2条に基づき、1984年11月、シーク教徒に対する体系的、意図的、故意による虐殺を『大量虐殺』として認識と公表。

名前	電話番号		
道	市	州	郵便番号
署名	日付	国	

シーク教徒に正義を ● エクスチェンジ・タワー ● 130 キングストリートウエスト 1800 ● トロント、オンタリオ ● M5X 1E3 電子メール: support@sikhstorjustice.org ● (416) 825-5766 ● www.sikhstorjustice.org.